

薬事委員会決定事項

薬事委員会 書記
薬剤部 小泉 祐一、木村 初

2023年1月27日の薬事委員会で以下の薬剤について決定いたしました。他の事柄についてもあわせてご報告いたします。

① 新規採用医薬品

リバゼブ配合錠 LD/HD (循環器内科) 【院外限定】

薬効： HMG-CoA 還元酵素阻害剤／

小腸コレステロールトランスポーター阻害剤配合剤

申請理由： 脂質ガイドラインの変更で管理が厳しくなり、スタチンへの追加としてエゼチミブが推奨されている。合剤であり使用頻度も高くなるため。

採用中止薬剤： なし

グラアルファ配合点眼液 (アイセンター) 【院外限定】

薬効： Rho キナーゼ阻害薬/α2 作動薬配合剤 ー緑内障・高眼圧症治療剤ー

申請理由： 2 剤配合剤で、両剤使用中の患者が多く、点眼本数を減らすことがアドヒアランス向上、点眼指導負担軽減につながるため。

採用中止薬剤： なし

② 後発医薬品について

後発品が年に2回、発売されるため、継続的な後発品の変更が必要

先発名	薬価	後発名	薬価
ネキシウムカプセル 20 mg	100	エソメプラゾールカプセル 20 mg 「ニプロ」	46.6

※これまでどおり、外来での処方先発品での対応もできるようにします

③ 内服ブドウ糖について

今まで製薬会社より無償提供していただいていた内服ブドウ糖の提供が終了となります。今後は各部署で物品発注をしていただき、使用分を汎用で入力していただきますよう、よろしくお願いいたします。

1包あたり 5g となりますので、ブドウ糖 10g 内服の指示の場合は2包服用していただきます。

汎用→*22. 看護オーダー処置 (入院) →持ち帰り・自費→ブドウ糖

④ 使用成績調査について

1. 調査区分：一般使用成績調査（全例調査）
2. 医薬品名：ダルビアス点滴静注用 135mg
3. 調査目的：再発又は難治性の末梢性 T 細胞リンパ腫患者を対象に、ダルビアス点滴静注用（以下、本剤）を使用実態下で投与したときの安全性を検討する。
4. 調査期間：契約締結日～2029 年 7 月（7 年間）
登録期間：契約締結日～2029 年 1 月（6 年 6 カ月）
観察期間：本剤投与開始から 9 サイクル終了までの期間（1 サイクル 21 日間）
5. 予定症例数：全例
6. 調査責任医師：麥谷安津子
調査分担医師：原田尚憲、白神大志、喜澤佑介、向井大貴

⑤ オメプラゾール注について

現在、オメプラゾール注の欠品が続いています。月平均使用量の 5 割程度の納品となっております。消化管出血等で内服できない方に限定してオメプラゾール注をご使用ください。予防での使用は、極力他剤（ファモチジン注、PPI 内服等）へ変更していただきますよう、ご協力お願いいたします。場合によってはオメプラゾール注のオーダーを一時中止させていただきます。